

# 市産木材の皮等を用いた カゴやアート作品の制作及び販売

令和8年最終報告

文京学院大学

コンテンツMDフィールドワーク

経営学部 3年：近藤彩花、後藤周、藤井妃菜、渡辺愛里咲、小池夏音（代表）、石川桜

2年：林苺花、1年：高田華乃亜、岡田姫花

指導教員：経営学部 准教授 中路真紀 / コンテンツ多言語知財化センター マネージャー 成海 禎美



一年間のフィールドワークを通して、  
 商品開発などを通じた課題解決や地域復興支援に取り組んでいる

文京学院大学 コンテンツMDフィールドワーク

# 目次

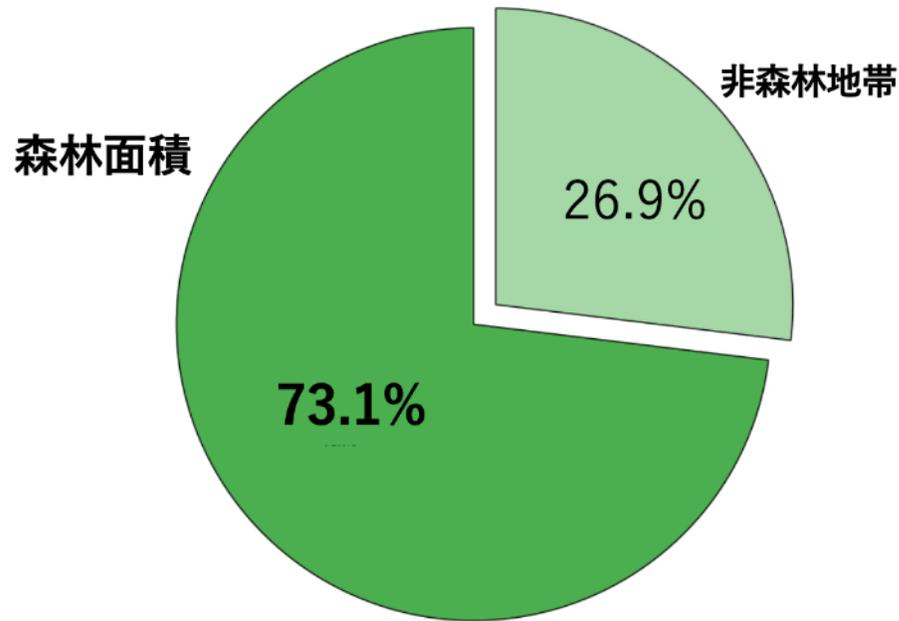
---

## Agenda

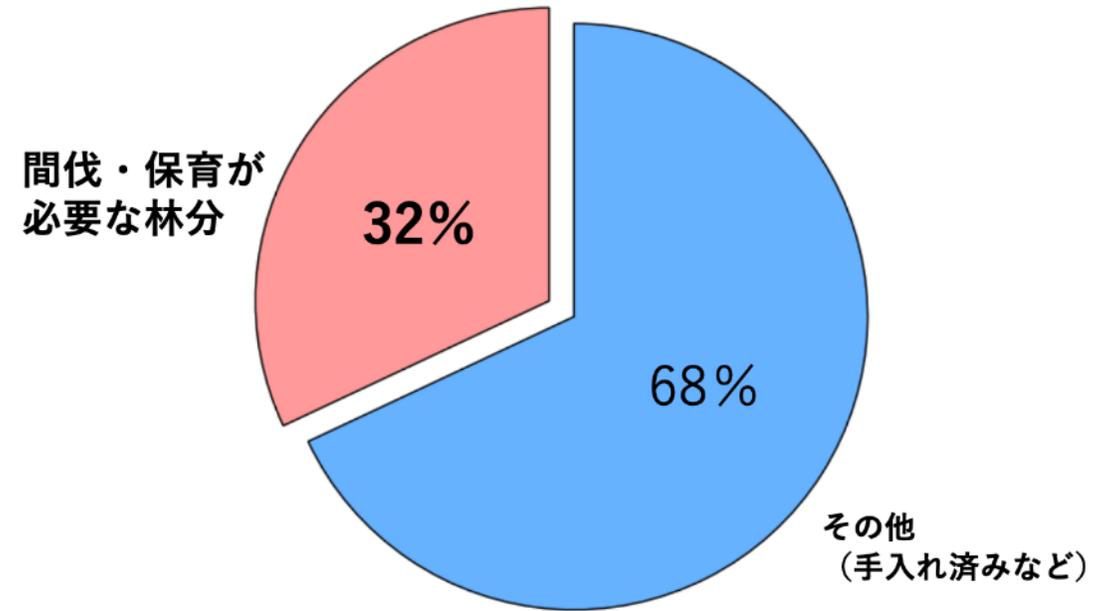
- **テーマと目的**
- **昨年度の取り組み**
- **今年度の取り組み**
- **来年度の方針**

# 盛岡市の森林の活用状況

## 盛岡市の市域に占める森林の割合



## 盛岡市民有林における間伐・保育の必要性



出展：盛岡市森林整備計画  
<https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/keikaku/sangyokei/1010014/1010015.html>

## 3か年目標

全体テーマ「市産木材の皮等を用いたカゴやアート作品の制作及び販売」

### ■ 1年目（令和6年）

「現状把握と利用促進の醸成」

### ■ 2年目（令和7年）

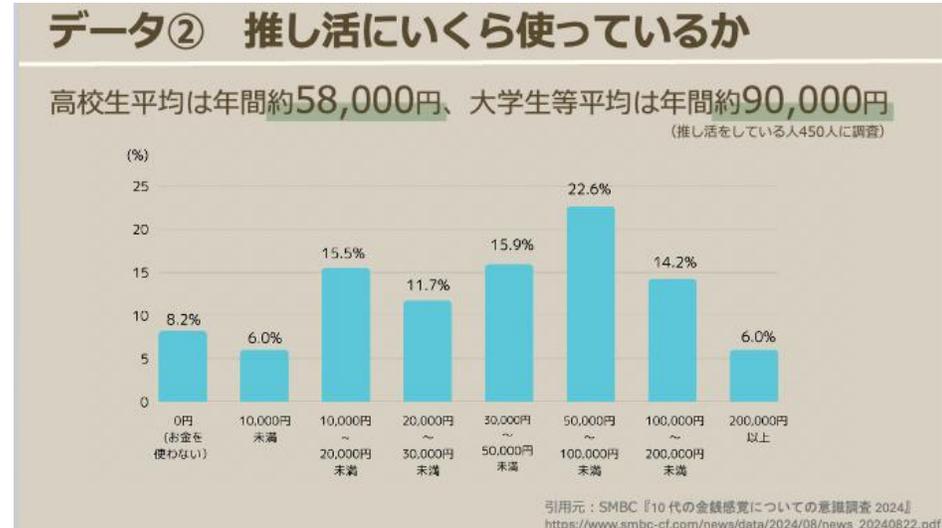
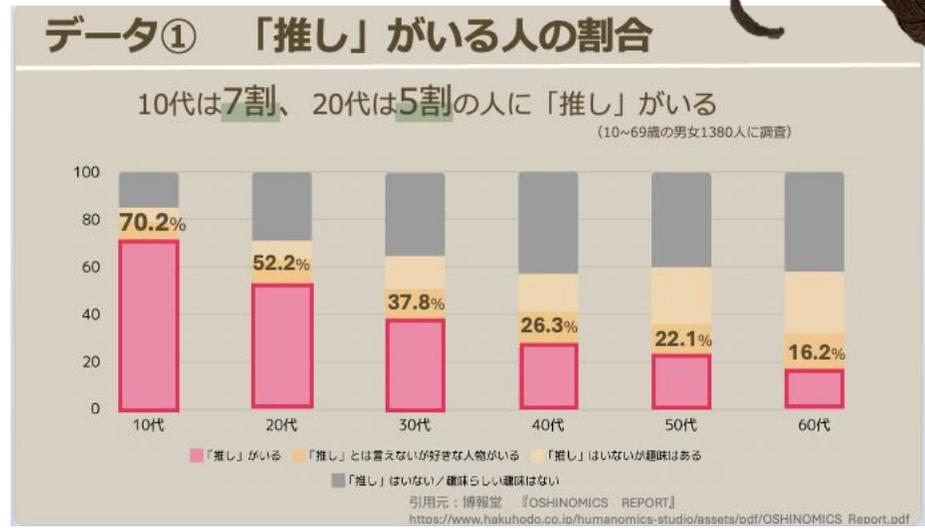
「木の皮の商品やオブジェによるブランディング・テスト販売」

- ・ 学生商品の考案・制作
- ・ 盛岡市でのテスト販売

### ■ 3年目（令和8年）

「木の皮の商品の本販売と盛岡市内への発信、伝承」

# 昨年度の取り組み



# 2025 今年度の活動

「木の皮の商品やオブジェによるブランディング・テスト販売」  
学生商品の考案・制作・盛岡市でのテスト販売

# 今年度の目標設定

1. 材料調達からテスト販売まで一貫して取り組むこと
2. アート作品の制作・展示

# 今年度の活動スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
	くるみの木の皮採取	山ぶどうの木の皮採取	木の皮加工	かご編み教室	
			企画 試作 →		

10月	11月	12月	1月	2月
文京祭 (調査)		たみっと (展示販売アンケート)		
		リースフェスティバル		

中間報告会

最終報告会

5・6月  
木の皮の採取  
加工



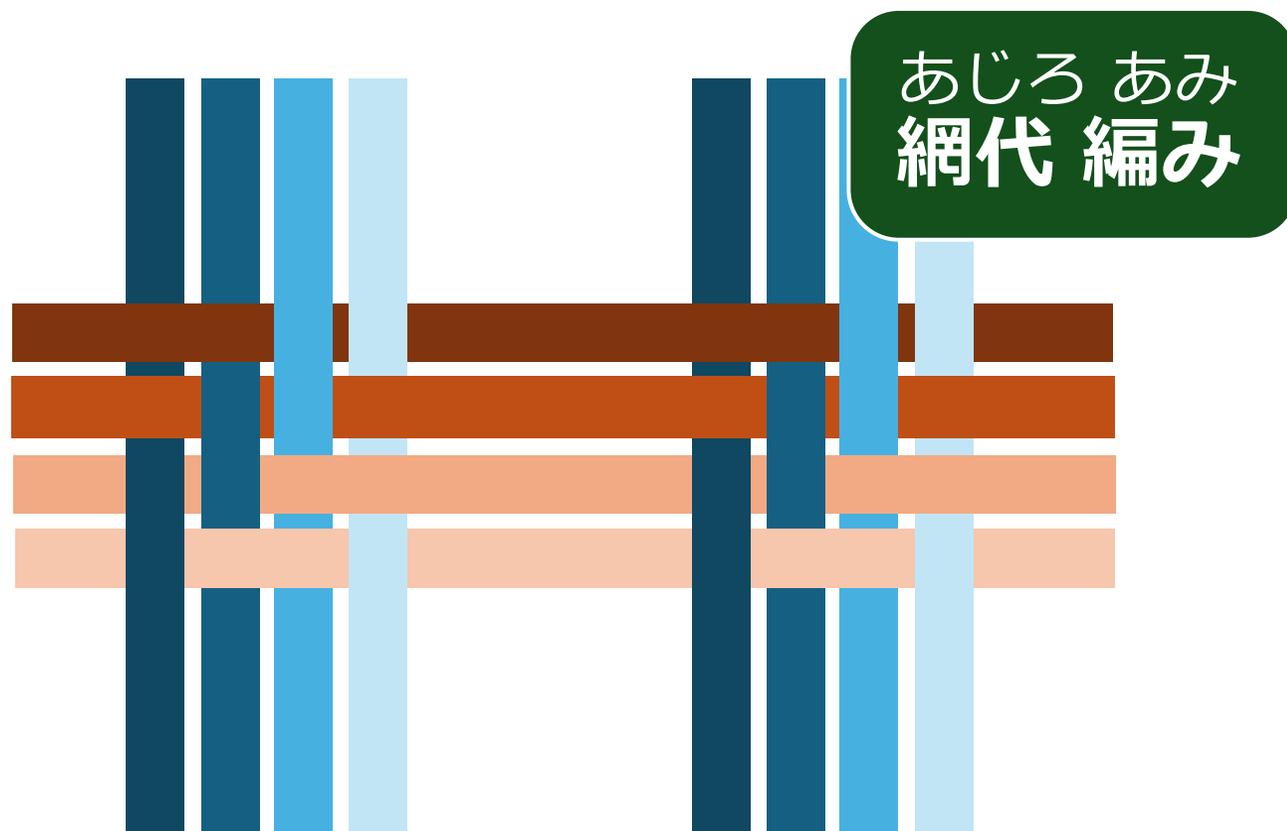
# 皮の手入れ・加工



# かご編み教室

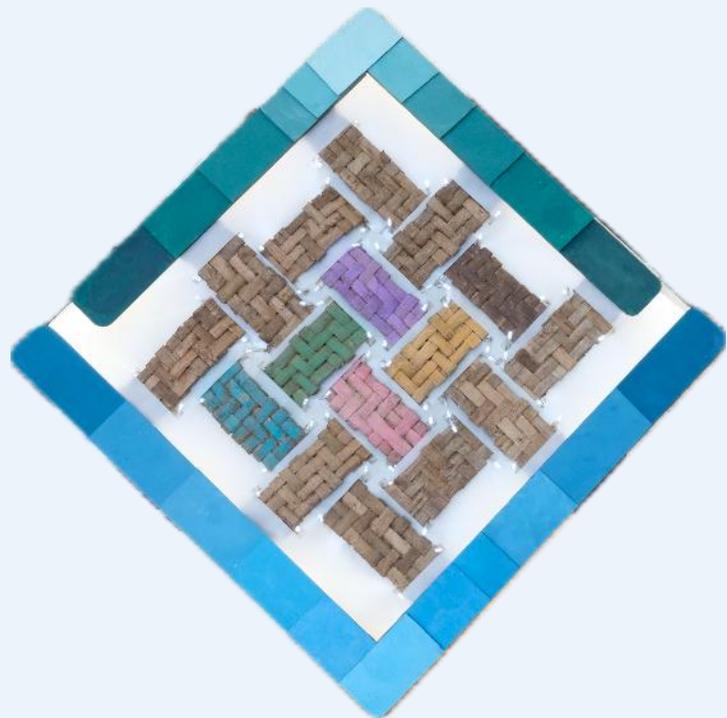
廣田美津夫先生

本学本郷キャンパス, 8月26日~30日



# 今年度の制作物

道の駅もりおか渋民  
たみっとロゴオブジェ



オブジェ

リース



商品

ランプ



# たみつと ロゴオブジェ制作意図



道の駅 もりおか渋民

愛称： たみつと

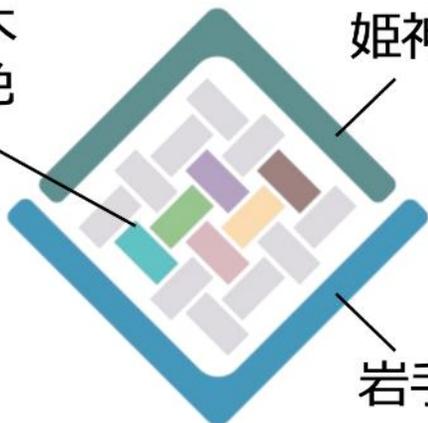
たみつとオープン時期と、  
私たちの活動が同時期に重なったこと  
から、たみつとでの展示を目指して、  
作品の制作を開始

# 元のコンセプトを活かしたオブジェ化

## たみっとロゴデザインコンセプト

石川啄木の歌の色

姫神山



岩手山



(盛岡市HP ログデザインの詳細)

## たみっと運営 コンセプト

つどう、つながる、つむぎあう。

くるみの木の皮  
網代編みで  
「つむぎあう」を強調

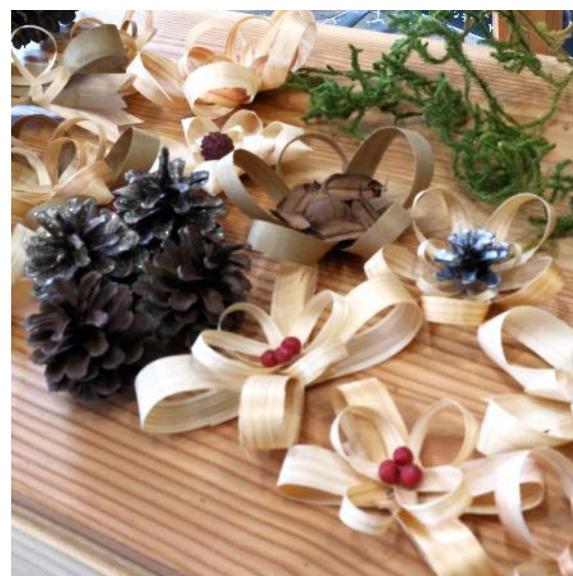
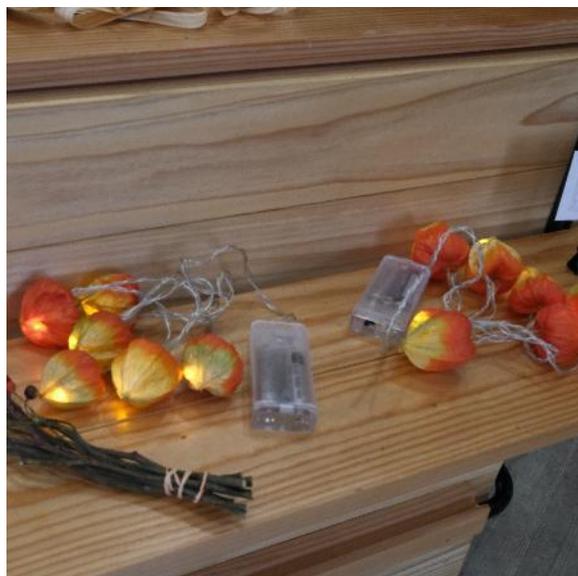
グラデーションと  
立体感で  
山の美しさを表現

歌の色を再現

背面から  
照明



# リース 完成品



# ランプ 完成品



# 商品試作と 1 2月のテスト販売

# 試作品



# 文化祭



来場者数 約50名

内容

- ・ 展示
- ・ アンケート調査
- ・ ヒアリング調査



# 盛岡市でのテスト販売と受賞

# 販売・展示会 たみつと

フューチャーセンター  
来場者 約**150**名

展示・販売、アンケート調査



# たみつと展示・販売会の様子



# 商品の価格設定



- ・猫ランプ/犬ランプ（小）： ¥ 3,500
- ・猫ランプ/犬ランプ（大）： ¥ 10,000
- ・丸ランプ： ¥ 3,000



- ・飾り込み： ¥ 6,000
- ・土台： ¥ 4,000
- ・飾り：ほおずきライト、野バラ：1個 ¥ 500
- ・飾り：経木飾り、松ぼっくり、ヒカゲカズラ：2個セット ¥ 500

# SOLD OUT

- ・飾り込みリース×2
  - ・経木飾り×2
  - ・ほおずきライト×2
  - ・丸ランプ×2
  - ・ネコランプ小
- 合計23,500円



# リースフェスティバル

## Waのまちもりおかりース展

令和7年12月3日(水)～12月7日(日)

- ・公募による出展作品の展示
- ・リース大賞2025の決定(一般投票)

## 準グランプリ受賞



34 学生がつなく、  
盛岡と東京の絆リース  
文京学院大学

素材：右「盛岡産」くるみの木の皮 榊木 松ぼっくり  
左「東京産」紙、ペットボトル

コメント：  
盛岡市と文京区の学生で実施する、アグリイノベーション事業で  
制作したリースです。東京の身近な資材と盛岡産木材を使い、都会  
と自然の魅力を対比しました。

準  
グ  
ラ  
ン  
プ  
リ

# リースフェスティバル ワークショップ



# 深沢紅子野の花美術館 にてリース選抜展

## Waのまちもりおかリース展 選抜展

日時：令和7年12月9日(火)～12月21日(日)

場所：深沢紅子野の花美術館



# たみつと販売会の アンケート結果

# アンケート

2日間で約150名の来場  
男性44名、女性56名 計100名が  
アンケート回答

## アンケート項目

- 年代、性別
- リースに関する質問
- ランプに関する質問
- 販売会・未活用資源に関する質問

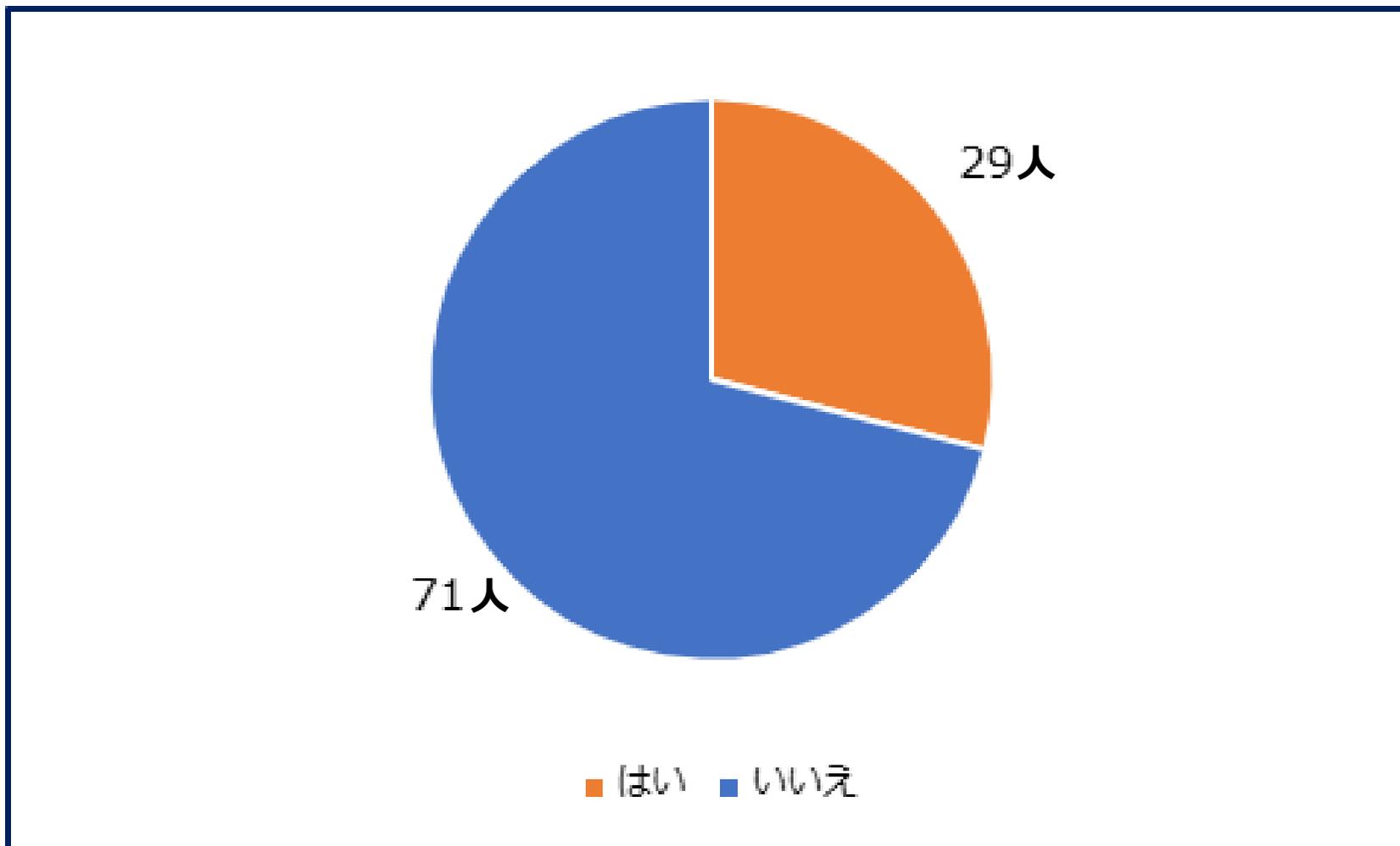
### ご来場アンケート

文京学院大学 コンテンツMD

性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 回答しない
年齢	<input type="checkbox"/> 10歳未満 <input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
・ランプの形はどちらに魅力を感じましたか？ <input type="checkbox"/> 丸型 <input type="checkbox"/> 動物モチーフ(猫/犬など)	・丸ランプの価格について、どのように感じましたか？ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 安い
・猫ランプの価格について、どのように感じましたか？ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 安い	・リースを購入するとしたら、どちらの形式が良いですか？ <input type="checkbox"/> 飾り付き <input type="checkbox"/> 飾り別(自分で選びたい)
・普段、季節のリースを飾りますか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	・リースの価格について、どのように感じましたか？ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 安い
・「たみっと」のロゴをご存知でしたか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	・ロゴの印象に近いものを選んでください(複数選択可) <input type="checkbox"/> 自然を感じる <input type="checkbox"/> やさしい <input type="checkbox"/> 道の駅にありそう <input type="checkbox"/> おしゃれ <input type="checkbox"/> あたたかい
<b>未活用資源について</b> 未活用資源とは、価値があるのに使われないまま残ってしまう木の皮や端材などの木材のことです。	
・本日来場される前に、くるみの木の皮などが未活用資源だということをご存知でしたか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	・未活用資源を活用したことがありますか？ <input type="checkbox"/> はい (よろしければ内容をご記入ください) <input type="checkbox"/> いいえ
・本日の販売会を見て、未活用資源について関心を持った点を教えてください。(複数選択可) <input type="checkbox"/> 捨てられる素材が活かされている <input type="checkbox"/> 地域支援につながっていると思った <input type="checkbox"/> 自然素材として魅力を感じた <input type="checkbox"/> 環境配慮を感じた <input type="checkbox"/> デザインがおもしろかった <input type="checkbox"/> 特に関心を感じなかった	・未活用資源を使った商品があれば購入してみたいですか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 値段次第 <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 分からない
今日の販売会・説明は分かりやすかったですか？ <input type="checkbox"/> とても良い <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> ふつう <input type="checkbox"/> あまり良くない <input type="checkbox"/> 良くない	
本日の感想・ご意見を自由にお書きください。(自由記述)	

# アンケート結果

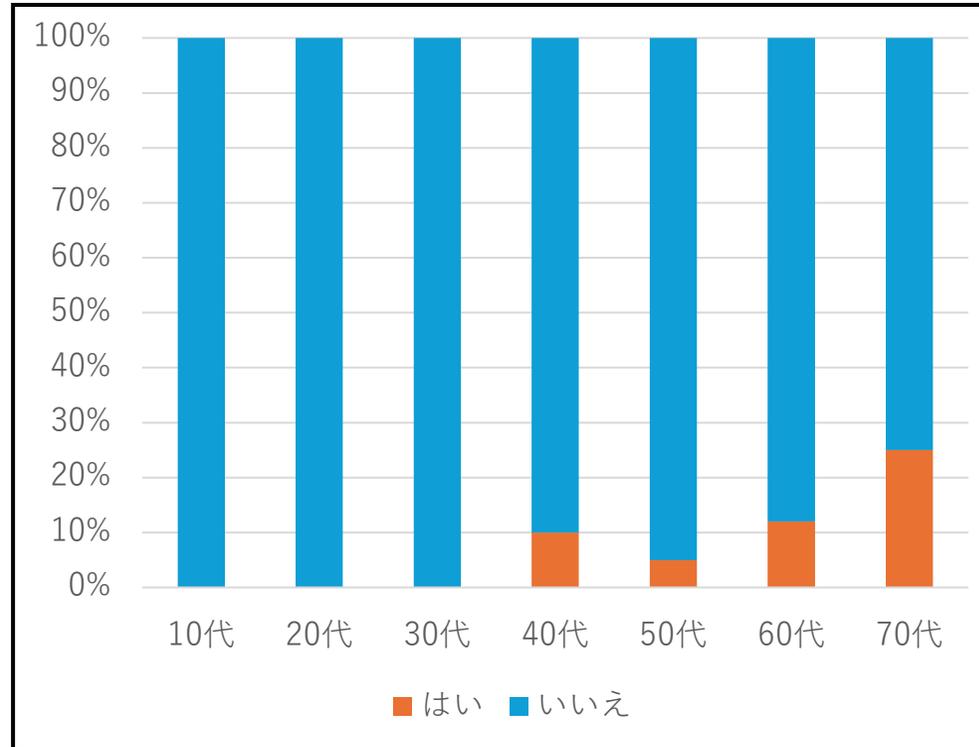
Q. 普段、季節のリースを飾るか



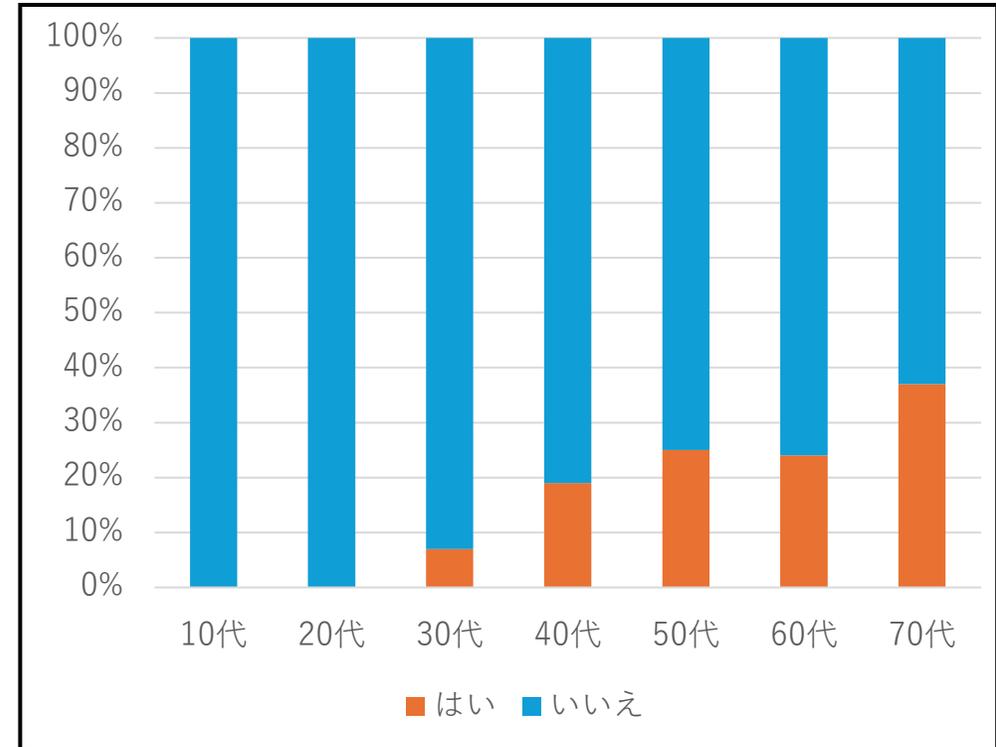
# アンケート結果

未活用資源とは、資源自体は存在しているが、活用されず放置されてしまっている資源のこと

## Q.木の皮が未活用資源と知っているか



## Q.未活用資源の活用経験



高齢の方は未活用資源への認知度が高い

若年層を重点に未活用資源の認知を拡大する必要がある

# 今年度の成果

## 目標1.

### 材料調達からテスト販売まで通して取り組むこと

- ・木の皮の採取方法、保管方法
- ・ロゴオブジェ、ランプ、リースの作成

# 今年度の成果

## 目標2.

### アート作品の作成展示

- ・ リース展での準グランプリ受賞
- ・ ロゴオブジェの寄贈、常設

# 来年度の方針

- ・くるみの皮チップの伝承



- ・ワークショップ
- ・東京で販売、展示会とアンケート調査

# メディア掲載

## 盛岡 6、7の両日、同市浩民の道の駅もりおが

# 木皮製品 こだわり紹介

文京学院大の学生4人がクルミやヤマブドウの木の皮で作ったリースとランプを販売。学生たちは3月から材料の収集や加工方法の学習など準備を進めてき

### 東京の学生制作、販売

来場者に制作の思い出や作品のこだわりを紹介した。学生リーダーを務めた経営学部3年の小池尊吉さん(21)は「この事業で初めて山に入った。制作を通して山林が身近になった」と声を弾ませた。

展示販売会は文京区の大塚と連携し、農業の発展や資源の掘り起こしを目指すアグリイノベーション事業の一環で開催した。



制作の思い出を振り返る文京学院大の学生

2026年(令和8年)1月5日(月曜日)

# 盛岡のクルミ 学生が光



先駆が開発した技術を生かし、リースの制作に励む文京学院大の学生

## 東京・文京学院大有志

2025年12月に行われ、もりおか産の輪「プロジェクト」コンテスト、Waのまもりおかりん展2025で受賞した作品「ワのまもりおかりん展」は、盛岡と東京の絆をイメージした。メンバーは「自分たちの技術が広まって農業資源の活用につながってほしい」と期待を寄せる。

### 木の皮加工 リース制作 独自技法、コンテスト入賞

右側に盛岡で取れたクルミの木の皮や松ぼっくりなどを配置し、左側は都会も地方でも日常的なペットボトルと紙で構成した。

リースは、木の皮はきざみで切り込みを入れて乾燥させると、皮が自然に曲がる特性を生かして制作した。独自の技法は大学の先輩が4年前に開発。後輩がものづくりの技術を受け継ぎ、さらに精度を上げた。

同月には同市浩民の道の駅「もりおか産の輪」プロジェクトで販売を働き、学生3人が制作した商品を紹介した。ホオズミの実やリボンがかわいらしいリースやランプが並び、

客からは「技法が新しい」「壁の方に感心した」と好評を寄せられた。

盛岡市の農業資源を文京区の学生が掘り起こすアグリイノベーション事業の一環として、同大は25年度からクルミの木の皮にスポットを当てた活動を開始。今後は商品販売や加工技術の周知など取り組み、資源活用の活性化を目指す。

リースを制作した今年の近藤彩花さん(21)は「おみせを使った加工は簡単。この方法が広まってリース以外の作品も増えてほしい」とほほ笑む。

(泉山優花)



リースのコンテストで準グランプリに輝いた作品

## 東京新聞 2026年 1月 5日 掲載

東京新聞 PR TIMES

文京学院大学 盛岡市とのアグリイノベーション事業で成果「Waのまもりおかりん展2025」で「準グランプリ」を受賞

プレスリリースの内容について

このプレスリリースは承認済みの記事と見做されます。内容についてはお問い合わせ先にご確認ください。

文京学院大学  
経営学部3年が「くみあてテック」技法を生かした、木の皮加工製品を販売

## 文京学院大学 盛岡市とのアグリノベーション事業で成果「Waのまちもりおかリース展2025」で『準グランプリ』を受賞

2025年12月15日(月)14:45

PRTIMES



画像 (1枚)

経営学部学生が「くるみ皮チップ技法」を独自開発、地域課題解決と商品化を目指す

文京学院大学（学長：福井 勉）は、盛岡市が令和3年度から実施している「文京区学生と創るアグリノベーション事業」に令和6年度より参画し、地域課題の解決に取り組んでいます。このたび、本学経営学部の学生た

## 文京学院大学 盛岡市とのアグリノベーション事業で成果「Waのまちもりおかリース展2025」で『準グランプリ』を受賞

2025年12月15日13時00分 / 提供：PR TIMES

PRTIMES



経営学部学生が「くるみ皮チップ技法」を独自開発、地域課題解決と商品化を目指す

文京学院大学（学長：福井 勉）は、盛岡市が令和3年度から実施している「文京区学生と創るアグリノベーション事業」に令和6年度より参画し、地域課題の解決に取り組んでいます。このた

び、本学経営学部の学生たちが地域未活用資源である希少素材のくるみ木の皮を活用したリースが、盛岡市内で開催された「Waのまちもりおかリース展2025」に出展され、43作品の展示の中から来場者投票により『準グランプリ賞』を受賞しました。当作品は、盛岡市産のくるみ木の皮という地域の未活用資源を活用し、森での採取から加工・デザインまで、学生が一連のプロセスを担って制作したものです。本作品は、12月6日～7日に道の駅もりおか渋民（岩手県盛岡市）で実施した学生作品の展示・テスト販売企画の一環として制作・展示されていたもので、会期中は多くの来場者から素材や制作背景に関心を寄せる声が寄せられました。

動画 録画 生放送 チャンネル 大百科 実況 Nアニメ その他

トップ > ビジネス



## 文京学院大学 盛岡市とのアグリノベーション事業で成果「Waのまちもりおかリース展2025」で『準グランプリ』を受賞

2025/12/15 13:00 PR TIMES



文京学院大学（学長：福井 勉）は、盛岡市が令和3年度から実施している「文京区学生と創るアグリノベーション事業」に令和6年度より参画し、地域課題の解決に取り組んでいます。このたび、本学経営学部の学生たちが地域未活用資源である希少素材のくるみ木の皮を活用したリースが、盛岡市内で開催された「Waのまちもりおかリース展2025」に出展され、43作品の展示の中から来場者投票により『準グランプリ賞』を受賞しま

# Webサイト 6 件掲載して頂きました

## 盛岡市のアグリノベーション事業が生み出した新しい関係性と製品の魅力



地域資源を活かした新たな挑戦

文京学院大学は、盛岡市と連携し、地域課題の解決に取り組む「文京区学生と創るアグリノベーション事業」に参加し、新たな成果を上げました。この事業は、地域の未活用資源を活かして、持続可能な農業や地域活性化を目指すものです。

先日、「Waのまちもりおかリース展2025」で開催された展示会において、同大学の経営学部の学生たちが製作したリース作品が、来場者の投票により『準グランプリ』を受賞しました。この作品は、盛岡市産の希少な「くるみ木の皮」を用いて作られ、学生たちが森での採取から加工、デザインまでの一連のプロセスを手掛けています。

このリースは、学生たちにとって貴重な体験となり、自然素材との対話を通じて地域の方々とのつながり、協力の重要性を実感する機会となりました。

データ提供 PRTIMES

## 文京学院大学 盛岡市とのアグリノベーション事業で成果「Waのまちもりおかリース展2025」で『準グランプリ』を受賞

2025年12月15日14時47分

[文京学院大学]

経営学部学生が「くるみ皮チップ技法」を独自開発、地域課題解決と商品化を目指す

文京学院大学（学長：福井 勉）は、盛岡市が令和3年度から実施している「文京区学生と創るアグリノベーション事業」に令和6年度より参画し、地域課題の解決に取り組んでいます。このたび、本学経営学部の学生たちが地域未活用資源である希少素材のくるみ木の皮を活用したリースが、盛岡市内で開催された「Waのまちもりおかリース展2025」に出展され、43作品の展示の中から来場者投票により『準グランプリ賞』を受賞しま

## 地域活性化を目指す文京学院大学のアグリノベーション事業とその成果



文京学院大学のアグリノベーション事業

文京学院大学経営学部は、盛岡市の地域課題解決に向けた「文京区学生と創るアグリノベーション事業」に参加し、地域資源を活用したプロジェクトを進めています。この事業は、盛岡市が抱える農業の課題を解決するため、都市部の学生たちが地域に新しい視点をもたらし、自ら学びながら地域貢献を目指す取り組みです。

リース展での受賞



michinoeki.morioka.shibutami \ イベントレポート /  
 ~文京学院大学と創るアグライノベーション事業~

12月6日と7日の2日間、東京都文京区にある、文京学院大学の生徒さんがたみっとを訪れ、盛岡市産木材の皮などを使ってつくったランプやリースの販売会を開催しました。



**bgu\_wakuwaku.nayamu** 地域資源 × 学生のアイデア！

学生が制作したアート作品を「道の駅もりおか渋民」でテスト販売しました ✨

胡桃や葡萄の木の皮など、盛岡市の未利用資源を活用したカゴバッグ・リース・ランプ・ロゴオブジェなど、個性豊かな作品が並び、来場者から大きな反響をいただきました！

 <b>盛岡市プレスリリース</b> ~輝きが増し 活かに湧き 夢をかなえるまち盛岡~	令和7年12月11日 玉山総合事務所 産業振興課
市政記者クラブ加盟社 各位	 道の駅もりおか渋民 Morioka Shibutami
<b>道の駅もりおか渋民 たみっと</b> <b>渋民保育園園児によるイルミネーション点灯式のお知らせ</b>	
令和7年4月26日開業の「道の駅もりおか渋民 たみっと」初めて迎える本格的な冬を前に、よりたくさんの皆さまにご来場いただけるよう、たみっとを明るく彩り、暖かく包み込むイルミネーションを設置いたします。 当日は、渋民保育園園児による点灯式を行いますので、当日の取材方について御配慮くださいますようお願い申し上げます。	

**フューチャーセンターに飾られた「たみっとロゴ型ライト」**



ご清聴いただきありがとうございますありがとうございました

# まとめ

**全体テーマ「市産木材の皮等を用いたカゴやアート作品の制作及び販売」**

## **今年度の目標**

- ・材料調達からテスト販売まで一貫して取り組むこと
- ・アート作品の制作・展示

## **今年度の成果**

- ・木の皮の採取方法、保管方法
- ・ロゴオブジェ、ランプ、リースの作成
- ・リース展での準グランプリ受賞
- ・ロゴオブジェの寄贈、常設

## **来年度の方針**

- ・くるみの皮チップの伝承
- ・ワークショップ
- ・東京で販売、展示会とアンケート調査